

救 助 概 況

平成 21 年中の救助出動件数は 64 件で、前年に比べ 10 件増加している。救助活動件数は 24 件で、前年と同じ件数となっている。

なお、救助人員は 23 人で、前年に比べ 1 人増加している。(下表参照)

救助活動件数及び救助人員の推移

区分 年	救 助 活 動 件 数		救 助 人 員	
	件 数	対前年増減率	人 員	対前年増減率
17 年	25	▲34.2%	29	▲17.1%
18 年	28	12.0%	23	▲20.7%
19 年	36	28.6%	37	60.9%
20 年	24	▲33.3%	22	▲40.5%
21 年	24	0%	23	4.5%

事故種別ごとに出動件数をみると、最も多いのは、火災の 20 件で全体の 31.2%を占めている。次いでその他の事故の 19 件 (29.7%) で、以下交通事故の 17 件 (26.6%)、水難事故の 6 件 (9.4%)、風水害等自然災害の 2 件 (3.1%) の順となっている。

また、救助活動件数では、交通事故が最も多く 10 件で全体の 41.7%を占め、次いでその他の事故の 9 件 (37.5%)、水難事故の 4 件 (16.6%)、火災の 1 件 (4.2%) の順となっている。

救助人員は 23 人で、救助活動 1 件当たり 0.96 人を救助していることになり、事故種別ごとにみると、交通事故によるものが 10 人で、昨年と同様最も多く、全体の 43.5%を占めている。